

東松島市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

| 区分 | 住民基本台帳人口 (平成22年度末) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 平成21年度の人件費率 |
|------|-----------------------|------------------|---------------|-----------------|-------------|---------------------|
| 22年度 | 人 42,277 | 千円 15,335,995 | 千円 509,133 | 千円 2,694,013 | % 17.6 | % 16.6 |

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

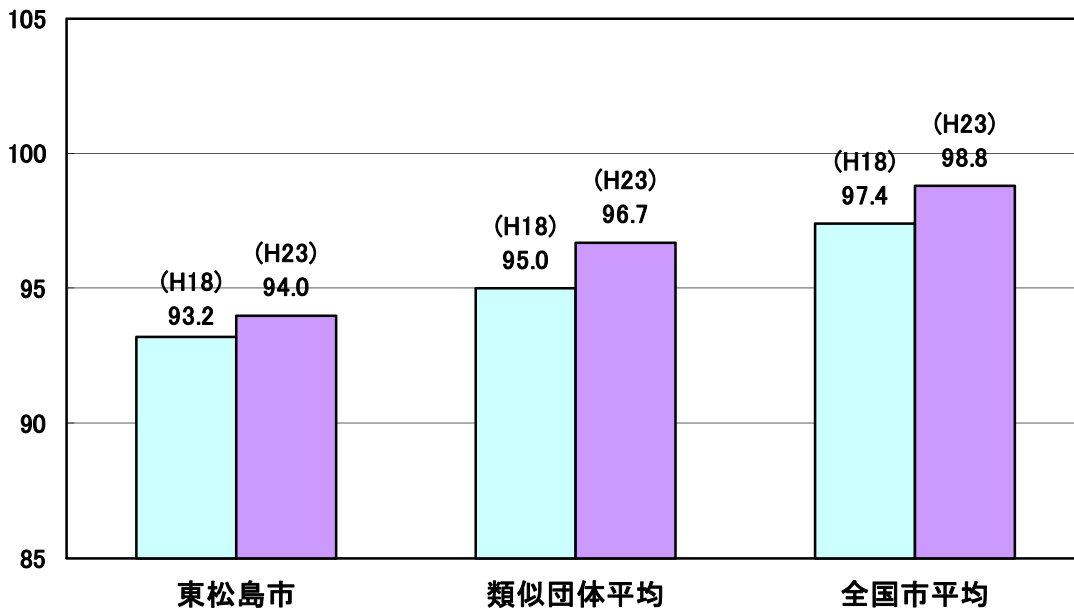
| 区分 | 職員数 A | 給与費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A | (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------|----------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|------------------|------------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 22年度 | 人 315 | 千円 1,139,831 | 千円 179,440 | 千円 396,360 | 千円 1,715,631 | 千円 5,446 | 千円 5,745 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成22年4月1日現在の人数です。

(3) 特記事項

なし

(4) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。
3 類似団体とは、人口規模と産業構造(産業別就業人口の構成比)が類似している団体です。
東松島市の類似団体は、青森県三沢市、山形県上山市、福島県相馬市などです。

2 一般行政職給料表の状況(平成23年4月1日現在)

(単位 : 円)

| | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1号給の 給料月額 | 135,600 | 185,800 | 222,900 | 261,900 | 289,200 | 320,600 |
| 最高号給の 給料月額 | 243,700 | 309,200 | 356,400 | 390,100 | 402,500 | 424,600 |

(注) 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成23年4月1日現在)

①一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|------------------|
| 東松島市 | 42.8 歳 | 311,178 円 | 524,285 円 | 335,250 円 |
| 宮城県 | 42.8 歳 | 343,936 円 | 440,213 円 | 379,909 円 |
| 国 | 42.3 歳 | 327,205 円 | — | 397,723 円 |
| 類似団体 | 43.1 歳 | 325,607 円 | 384,184 円 | 351,717 円 |

②技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | | 民間 | | | 参考 |
|-------|-------|--------|----------|---------------|------------------|------|-------|---------------|------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額 (A) | 平均給与月額 (国ベース) | 類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額 (B) | A/B |
| 東松島市 | 43.6歳 | 16人 | 250,337円 | 340,924円 | 263,494円 | — | — | — | — |
| うち調理員 | 42.3歳 | 10人 | 245,830円 | 369,073円 | 257,330円 | 調理士 | 39.9歳 | 238,500円 | 1.55 |
| うち用務員 | 45.7歳 | 6人 | 257,849円 | 294,009円 | 273,766円 | 用務員 | 53.8歳 | 209,700円 | 1.40 |
| 宮城県 | 49.5歳 | 257人 | 332,110円 | 383,254円 | 358,903円 | — | — | — | — |
| 国 | 49.5歳 | 3,689人 | 283,862円 | — | 321,662円 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 49.0歳 | 27人 | 309,198円 | 335,585円 | 322,040円 | — | — | — | — |

| 区分 | 参考 | | |
|-------|---------------|------------|------|
| | 年収ベース(試算値)の比較 | | |
| | 公務員(C) | 民間(D) | C/D |
| 東松島市 | 5,072,605円 | — | — |
| うち調理員 | 5,382,735円 | 3,127,700円 | 1.72 |
| うち用務員 | 4,560,989円 | 2,943,200円 | 1.55 |

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。
 3 民間データは、「賃金構造基本統計調査」において公表されているデータを使用しています。
 (H20～H22の3ヶ年平均)
 4 公務員と民間の比較について、職種、年齢、業務内容、雇用形態が完全に一致しているものではありません。
 5 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータについて、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値となっています。

(2) 職員の初任給の状況(平成23年4月1日現在)

| 区分 | | 東松島市 | 宮城県 | 国 |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 172,200 円 | 178,800 円 | 172,200 円 |
| | 高校卒 | 140,100 円 | 144,500 円 | 140,100 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 137,200 円 | 141,900 円 | — |
| | 中学卒 | 121,600 円 | 125,400 円 | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額（平成23年4月1日現在）

| 区 分 | | 経験年数7年～10年未満 | 経験年数10年～15年未満 | 経験年数15年～20年未満 |
|-------|-----|--------------|---------------|---------------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 221,625 円 | 272,079 円 | 297,033 円 |
| | 高校卒 | 185,271 円 | 218,440 円 | 272,313 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | － 円 | － 円 | － 円 |
| | 中学卒 | 176,700 円 | 206,100 円 | 220,075 円 |

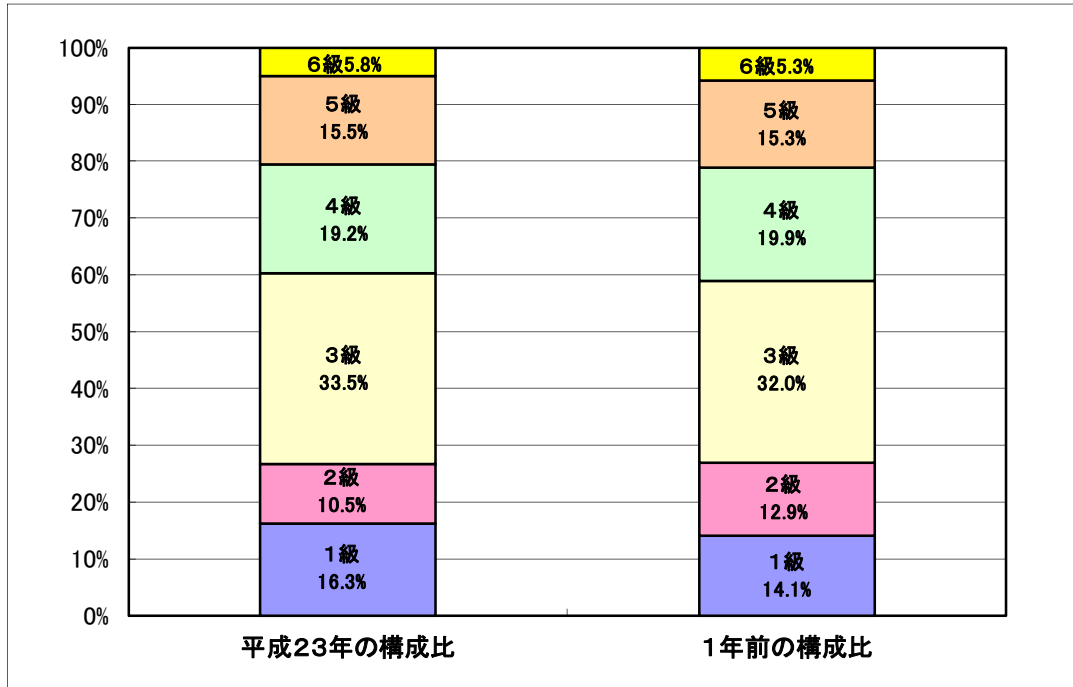
4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成23年4月1日現在）

| 区 分 | 標準的な職務内容および代表的な職種 | | 職員数 | 構成比 |
|-----|--|--------------------|------|--------|
| 6 級 | 部長及び会計管理者の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度のものとして市長が規則で定める職の職務 | 部長、会計管理者、議会事務局長、参事 | 12 人 | 5.0 % |
| 5 級 | 課長の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度のものとして市長が規則で定める職の職務 | 課長、副参事、技術副参事 | 37 人 | 15.5 % |
| 4 級 | 班長の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度のものとして市長が規則で定める職の職務 | 班長、技術監、主幹、技術主幹 | 46 人 | 19.2 % |
| 3 級 | 主任の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度のものとして市長が規則で定める職の職務 | 主任、技術主任 | 80 人 | 33.5 % |
| 2 級 | 知識又は経験を必要とする業務を行う職務 | 主査、技術主査 | 25 人 | 10.5 % |
| 1 級 | 定型的な業務を行う職務 | 主事、技師 | 39 人 | 16.3 % |

(注) 1 東松島市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

1. 勤務成績の評価の実施状況

地方公務員法第40条に基づき、毎年1月1日を評定日として全職員に対して勤務成績の評価を実施。

(内容の詳細については、東松島市職員の勤務成績の評価に関する規程を参照)

2. 昇給への勤務成績の反映状況

全職員について、勤務実績並びに執務に関連する性格、能力及び適正を公正かつ公式に記録し、AからEの評語を決定しその評定結果に基づき、昇給区分(0から7号俸以上)を決定。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 東松島市 | 宮城県 | 国 |
|---|---|---|
| 1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,252 千円 | 1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,691 千円 | — |
| (平成22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分 | (平成22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分 | (平成22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 15%~25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

本市は昇給の区分を判定するための勤務実績の評定を行っておりますが、勤勉手当の成績率を判定する勤務実績の評定については、現在検討中の人事評価システムに盛り込むこととしております。よって、平成22年度においては『勤務実績が特に優秀』、『勤務実績が優秀』といった判定はしていませんが、今後、人事評価制度導入とあわせて勤勉手当への勤務実績を反映させる予定です。なお、懲戒処分等により良好な勤務実績とならなかった者の成績率はその処分内容により別に定めています。

(2) 退職手当(平成23年4月1日現在)

| 東松島市 | | | 国 | | |
|-----------------------------------|----------|-----------|-----------------------------------|----------|----------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 | 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 |
| 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 | 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 |
| 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 | 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 |
| 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 | 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 |
| その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算) | | | その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算) | | |
| (退職時特別昇給 なし) | | | | | |
| 1人当たり平均支給額 | — 千円 | 21,970 千円 | | | |

(注)退職手当の1人当たり平均支給額は、平成21年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当

(平成23年4月1日現在)

| 支給実績(平成22年度決算) | | | 729 千円 |
|---------------------------|------|---------|-----------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成22年度決算) | | | 146 千円 |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度(支給率) |
| 東京都特別区 | 18 % | 0 人 | 18 % |
| 宮城県仙台市 | 6 % | 5 人 | 6 % |
| 宮城県名取市・多賀城市・利府町・富谷町 | 3 % | 0 人 | 3 % |

(4) 特殊勤務手当 ※平成19年度からは特殊勤務手当を全廃しました

廃止した特殊勤務手当 ・感染症防疫作業手当 ・動物の死体処理手当 ・行旅死亡人処理手当 ・訪問指導従事手当

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-------------------------|-----------|
| 支給実績(平成22年度決算) | 78,257 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額(平成22年度決算) | 273 千円 |
| 支給実績(平成21年度決算) | 82,824 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額(平成21年度決算) | 280 千円 |

(注)1 選挙による時間外手当も含まれておりますので、選挙のある年とない年では決算額に大幅な変動が生じます。

(6) その他の手当(平成23年4月1日現在)

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 異なる内容 | 支給実績 (平成22年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成22年度決算) |
|--------|--|----------|-------|--------------------|-----------------------------------|
| 扶養手当 | ○配偶者13,000円 ○配偶者以外 ① 1人につき6,500円 ただし、 ・職員に配偶者がいない場合 →扶養親族のうち1人について11,000円 ② 満15歳に達する日後の最初の4月1日から 満22歳に達する日以後の最初の3月31日 までの間にある扶養親族たる子 →1人につき5,000円を加算 | 同 | — | 38,964 千円 | 220,136 円 |
| 管理職手当 | ○管理又は監督の地位にある職員について、 その職務の特殊性に基づき支給 ・部長 66,000円 ・参事、課長 44,000円 ・副参事 21,000円 | 同 | — | 23,123 千円 | 428,194 円 |
| 通勤手当 | ○交通機関の利用者 ・最も経済的・合理的な経路及び方法による 定期券・回数券の価格 ※ただし、支給限度は55,000円 ○自動車等の使用者 ・2km以上 5km未満 2,000円 ・5km以上10km未満 4,100円 ・10km以上15km未満 6,500円 ・15km以上20km未満 8,900円 ・20km以上25km未満 11,300円 ・25km以上30km未満 13,700円 ・30km以上35km未満 16,100円 ・35km以上40km未満 18,500円 ・40km以上45km未満 20,900円 ・45km以上50km未満 21,800円 ・50km以上55km未満 22,700円 ・60km以上65km未満 23,600円 ・60km以上 24,500円 | 同 | — | 13,506 千円 | 53,596 円 |
| 住居手当 | ○23,000円以下の家賃を支払っている職員 家賃—12,000円 ○23,000円を超える家賃を支払っている職員 (家賃—23,000円)×1/2+11,000円 ※ただし、支給限度は27,000円 | 同 | — | 20,162 千円 | 288,026 円 |
| 単身赴任手当 | ○異動等により住居を移転し同居していた配偶 者と別居し、単身で生活することになった職員 23,000円 ※ただし、職員の住居と配偶者の住居との距離 が100km以上の場合は、距離数に応じて6,000円 から45,000円を加算する | 同 | — | — 千円 | — 円 |
| 宿日直手当 | ○宿日直を命ぜられた職員 ① 5時間以上 4,200円 ② 5時間未満 2,100円 | 同 | — | — 千円 | — 円 |
| 休日勤務手当 | ○休日(祝日・年末年始)において正規の勤務時 間に勤務することを命ぜられた職員 ○支給額 1時間あたりの給料×(135/100)×勤務時間 | 同 | — | — 千円 | — 円 |
| 夜間勤務手当 | ○夜間(午後10時から翌日の午前5時)におい て正規の勤務時間中に勤務することを命ぜられ た職員 ○支給額 1時間あたりの給料×(25/100)×勤務時間 | 同 | — | — 千円 | — 円 |
| 災害派遣手当 | ○災害応急対策又は災害復旧のため国又は他 の地方公共団体から派遣された職員が、住所又 は居住地を離れて東松島市の区域に滞在する 場合に3,970円から6,620円を支給する | 同 | — | — 千円 | — 円 |

6 特別職の報酬等の状況(平成22年4月1日現在)

| 区 分 | | 給 料 | 月 額 | 等 |
|------|-----|----------------------|--------------------|-----------|
| 給料 | 市長 | 891,000 円 | (参考)類似団体における最高/最低額 | |
| | 副市長 | 707,000 円 | 940,000 円/ | 259,000 円 |
| 報酬 | 議長 | 422,000 円 | 750,000 円/ | 249,000 円 |
| | 副議長 | 372,000 円 | 545,000 円/ | 230,000 円 |
| | 議員 | 348,000 円 | 474,000 円/ | 200,000 円 |
| 期末手当 | 市長 | (平成22年度支給割合) 2.95 月分 | | |
| | 副市長 | (平成22年度支給割合) 2.95 月分 | | |
| 退職手当 | 市長 | (算定方式) | (1期の手当額) | (支給時期) |
| | 副市長 | 891,000円×在職月数×0.44 | 18,817,920円 | 任期毎 |
| | 備考 | 707,000円×在職月数×0.26 | 8,823,360円 | 任期毎 |

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

7 職員数の状況

(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

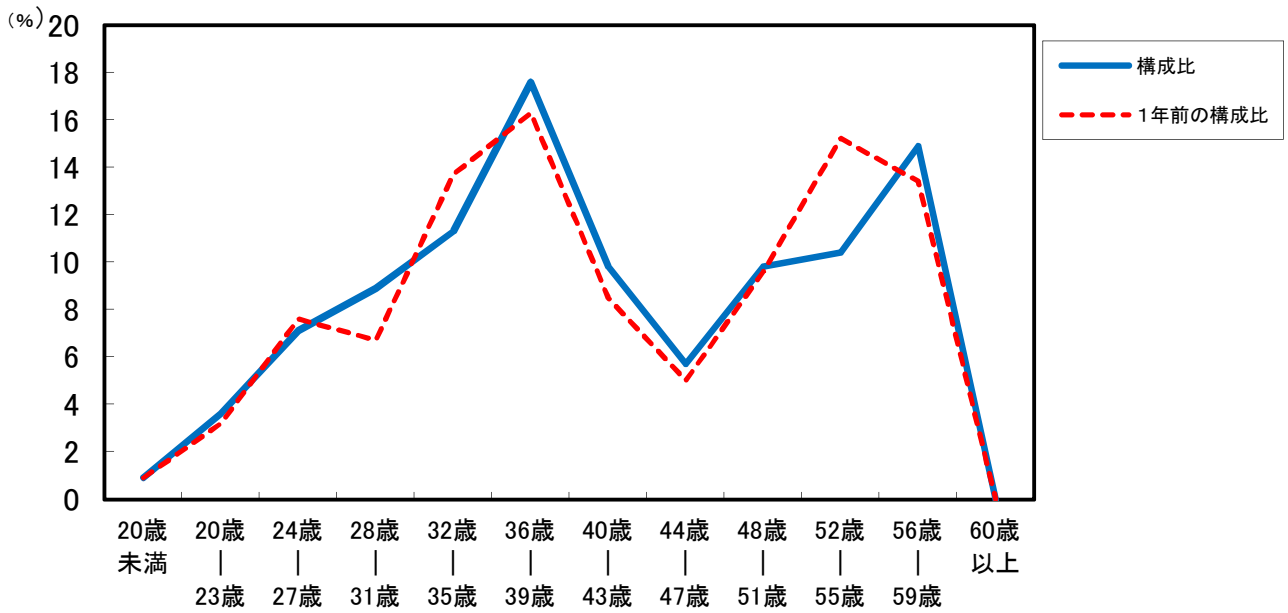
(各年4月1日現在)

| 部 門 | 区 分 | 職 員 数 | | 対前年 増減数 | 主 な 増 減 理 由 | |
|---------|--------|----------|----------|------------|---|---------------------------------------|
| | | 平成22年 | 平成23年 | | | |
| 普通会計部門 | 一般行政部門 | 議会 | 5人 | 5人 | 0人 | |
| | | 総務 | 80人 | 84人 | 4人 | 東日本大震災に伴う復旧窓口開設等による業務増 |
| | | 税務 | 18人 | 16人 | ▲ 2人 | 東日本大震災に伴う業務一時中断による減 |
| | | 民生 | 82人 | 82人 | 0人 | |
| | | 衛生 | 24人 | 24人 | 0人 | |
| | | 農林水産 | 22人 | 21人 | ▲ 1人 | 東日本大震災に伴う業務一時中断による減 |
| | | 商工 | 8人 | 7人 | ▲ 1人 | 東日本大震災に伴う業務一時中断による減 |
| | | 土木 | 21人 | 21人 | 0人 | |
| | 計 | 260人 | 260人 | 0人 | <参考> 人口1万人当たり職員数 61.5 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 72.43 人) | |
| | | 教育部門 | 56人 | 50人 | ▲ 6人 | 東日本大震災に伴う業務一時中断による減、学校用務員等の退職者不補充による減 |
| | 消防部門 | | | | | |
| | 小 計 | 316人 | 310人 | ▲ 6人 | <参考> 人口1万人当たり職員数 73.33 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 94.86 人) | |
| 公営企業部門等 | 下水道 | 11人 | 10人 | ▲ 1人 | | |
| | 国保・介護 | 17人 | 17人 | 0人 | 業務配分の見直しによる減 | |
| | 小 計 | 28人 | 27人 | ▲ 1人 | | |
| 合 計 | | 344人 | 337人 | ▲ 7人 | <参考> 人口1万人当たり職員数 79.71 人 | |
| | | [390人] | [390人] | [] | | |

(注) 1 職員数には教育長を含みます。

2 []内は、条例定数の合計です。(ただし、条例定数には教育長は含まれません)

(2)年齢別職員構成の状況(平成23年4月1日現在)



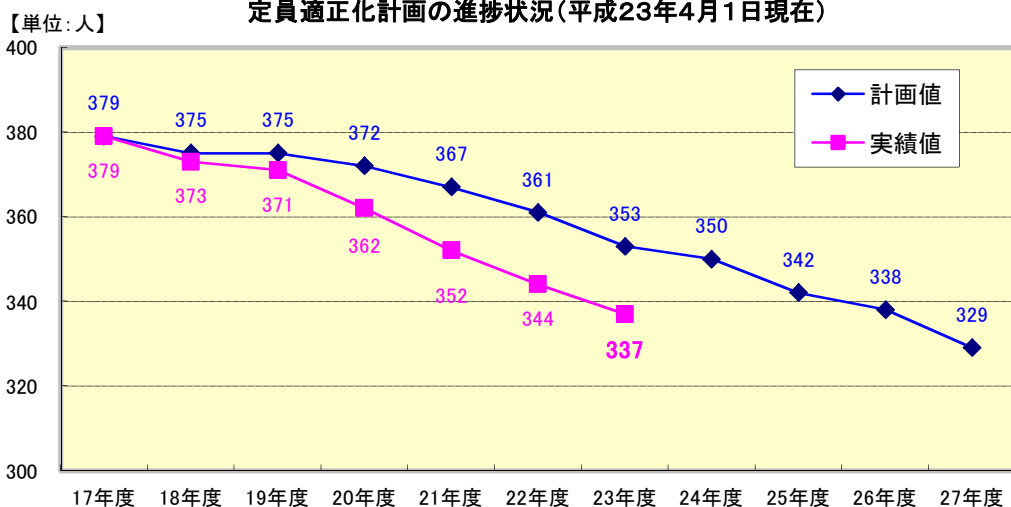
| 区分 | 20歳未満 | 20歳~23歳 | 24歳~27歳 | 28歳~31歳 | 32歳~35歳 | 36歳~39歳 | 40歳~43歳 | 44歳~47歳 | 48歳~51歳 | 52歳~55歳 | 56歳~59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 3人 | 12人 | 24人 | 30人 | 38人 | 59人 | 33人 | 19人 | 33人 | 35人 | 50人 | 0人 | 336人 |

(3)職員数の推移

| 部門別 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 過去5年間の増減数(率) |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 一般行政 | 269 | 268 | 262 | 260 | 260 | 260 | ▲9 (▲3.3%) |
| 教育 | 76 | 74 | 72 | 63 | 56 | 50 | ▲26 (▲34.2%) |
| 普通会計 | 345 | 342 | 334 | 323 | 316 | 310 | ▲35 (▲10.1%) |
| 公営企業等会計 | 28 | 29 | 28 | 29 | 28 | 27 | ▲1 (▲3.6%) |
| 総合計 | 373 | 371 | 362 | 352 | 344 | 337 | ▲36 (▲9.7%) |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

定員適正化計画の進捗状況(平成23年4月1日現在)



| 区分 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 計画値 | 379人 | 375人 | 375人 | 372人 | 367人 | 361人 | 353人 | 350人 | 342人 | 338人 | 329人 |
| 実績値 | 379人 | 373人 | 371人 | 362人 | 352人 | 344人 | 337人 | | | | |